

# 伊深 まちづくり協議会 だより

第 16 号

2014 (H26) 年 6 月 1 日発行

まち協ホームページアドレス : <http://ibukamachi.com>



・ 生き生き伊深人 (下本郷 木沢 猛さん) ..	1
・ 各活動グループの動き .....	2
・ 地域のトピックス .....	2
・ 協議会の動き .....	4

## 巻頭インタビュー

### 生き生き 伊深人

地域内で生き活きと活躍されている伊深人を紹介します

第 7 回

木 沢 猛さん  
たけし

下本郷/昭和 24 年  
生まれ/64 歳



**Q** ご自宅前の花飾りは木沢さん自身がやっておられるんだそうですね？

そうですね。かれこれ 20 年くらいになりますかね。300 鉢くらいあると思いますが、ペチュニア、ビオラ、サンジソウなどは種からとりますので、ほとんど今では買うことはないですね。結構もらったものも多くて、ホームセンターへ行くのは時期を見るためだけです。家のすぐ前を用水が流れているのも大きいですね。上水ではとても持ちません。



**Q** お仕事は酒屋さんが長かったですよね？

高校を卒業したとき、名古屋へ就職が決まっていたんですが、正眼寺の逸外老師に車で羽島へ連れて行かれ、そこでその酒屋に勤めることになりました。今から考えればずいぶん強引でしたね。その後、太田、美濃、といずれも酒屋の営業職でした。別に酒屋にこだわったわけではないんですが、この業界は狭くて、情報が伝わち

やうんです。それで「辞めたんならこっちへ来ないか」と引っ張られて、結局この 3 月まで酒屋の営業一筋ということになりました。

**Q** ベンチも作られたとか？

酒屋で使われていた材料をもらって作ったんです。近所の人が座れるようにとね。



**Q** 確か画がお得意でしたね？

小さいときから描くことは好きでした。市や県の展覧会で入賞した賞品で絵の具などはだいたいまかえしました。手先は器用な方で、工作することや大工仕事、指し物、ペン画、陶芸などのほか料理もやりますよ。うちは田畑はないので野菜をもらったりすると、フキみそ、キャラブキ、ユズみそなどを作ってお返しするんです。でも、『器用貧乏』で、これというものはないんです。

友人などでは趣味を極めて発表会をやったりするのもいて、つくづく「継続は力なり」と思いますね。

収集された「おちょこ」▶



(※6 月 5 日ころまち協 HP にも掲載します。)

## ■ 各活動グループの動き

協議会内で個別テーマに取り組んでいる活動グループの最近の動きを紹介します。  
(代表者の敬称略)

### 伊深の里の標柱づくりグループ 代表：福田美津枝

○ 設置後の標柱めぐり(ウォーキング)を6月14日(土)に計画しました。

### 環境美化グループ 代表：井上美恵子

○ 正眼短大下の花壇を毎月第1日曜日に手入れしています。

### 保育園畑作体験支援グループ 代表：大矢 伸司

○ 5月上旬以降、連日いちごの収穫が続いています。6月には豆類の種まきを園児たちとっしょに行う予定です。



## ■ 地域のトピックス

地域内での最近のトピックスを紹介します

### 消防団の操法練習が連日行われています

消防の基本操作をいち早く身につける目的で行われる「操法」の練習が始まりました。今年の新入団員3名も加わり、連日夜間訓練が行われています。市の大会は6月15日に牧野ふれあい広場で行われます。訓練への激励、大会への応援に参加できる方はぜひご参加ください。



### 5月18日、第1回給食サービスが行われました

社協伊深支部(遠山尚支部長)主催による第1回給食サービスが行われ、あじさい会(長谷部典子代表)のメンバーによっていねいに調理された「竹の子ご飯」が一人暮らし高齢者のお宅に届けられました。



### 5月19日、保育園・小学校合同でいちごの一斉収穫を行いました

2年目の今年は株数を増やしたため、たくさん成りました。このため5月19日には保育園だけでなく伊深小学校にも呼びかけて、園児全員、伊深小1・2年生で一斉収穫を行いました。別の日には三和小へも届けられました。今年は園生活の中で、新鮮ないちごを何度も収穫することができたようです。



### <お知らせ>

当「伊深まちづくり協議会だより」は今月から、毎月発行することになりました。記事材料のご連絡、記事に関するご質問、ご意見は事務局(伊深連絡所 29-1395)までお寄せください。

# 「伊深に住んでみて」

●伊深まち協では去る3月1日、ここ数年のうちに伊深へ越して来られたかたがたにお集まりいただき、「伊深に住んでみて」感じられたことなどをざっくばらんに語っていただきました。その一部を要約して紹介します。せっかく伊深を選んで来られた新住民を迎えるのに、現住民としても考え直すべき点もあるように思いました。

## ◆どちらから伊深へ来られましたか？

- ・各務原から（飛行機の音が気になって）
- ・小牧から（土地を分けてもらったので）
- ・中部台から（実家に近かったので）

## ◆来て良かったことは？

- ・こども連れだとお菓子をもらえたり、野菜がもらえたりすること。
- ・田舎としての安心感がある。
- ・田んぼの道など自然がいっぱいあること。

## ◆お気に入りのスポットは？

- ・正眼寺
- ・ホテルの出るところ
- ・牛牧の桜並木
- ・健康の森

## ◆来て戸惑ったことはありますか？

- ・思ったより人が少なかった。
- ・いきなりお葬式があったが勝手がわからず、困った。
- ・すぐお日待ち当番が当たったが地元のしきた

りがわからず、戸惑った。

・古いしきたりなど知らないのに、「知っていて当たり前」みたいな雰囲気がある。

## ◆地域への要望はありますか？

- ・小さい子どもを安心して遊ばせられる公園などが無いので作ってもらえると良い。
- ・葬式の対応で、あまりやることがなければ簡素化してもらえるとありがたい。（共働きだと大変なので）
- ・自治会活動で出る必要がある行事などは年間スケジュール表があると良い。



## 参加者募集!!

<p><b>第1回標柱ウォーキング</b></p>  <p>(標柱づくりG)</p>	<p>先に設置した標柱をめぐるウォーキングを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 <b>6月14日(土)</b> 8:40 受付開始～12:00 解散</li> <li>・集合場所 伊深交流センター前</li> <li>・コース 伊深交流センター前～本郷・牛牧・野地原方面</li> <li>・参加資格 どなたでも</li> <li>・持ち物 飲み物・タオル・日よけ</li> <li>・参加費 地区外の方は¥100 円お願いします（保険料）</li> <li>・申込み 伊深連絡所へ直接、電話、FAXで（6/10までに） まち協ホームページからでもできます。</li> </ul>
<p><b>伊深小学校の田植えの応援・事前準備</b></p>  <p>(小学校稲作体験支援G)</p>	<p>伊深小学校の体験学習を支援します。下記の作業を応援していただける方はご連絡ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場 所 学校西のたんぼ</li> <li>・作業内容・日程 5月30日（金）・31日（土）水入れ 6月1日（日） 代かき・ならし・肥料散布 6月5日 10:30～12:00 田植え</li> <li>・連絡先 連絡所（29-1395）まで</li> </ul>

## 短大下の花壇手入れ



(環境美化G)

短大下の花壇の手入れを毎月行っています。今年は種まきから苗を育てる仕事もありますので、お手伝いいただける方はご連絡ください。

- ・場 所 正眼短大下の花壇 ほか
- ・作業日 毎月第1日曜日 8:00 から
- ・連絡先 連絡所 (29-1395) まで

## ■ 協議会の動き

### H26 年度予算計画を承認し、活動が具体的にスタートしました

5月の定例会では下記のことを協議・検討しました。

#### ■ 報告

○冒頭、ほくぶ保育園の大矢園長より、次の報告・依頼がありました。

- ・統合後、伊深・三和の子たちが仲良く遊べていること。
- ・いちご畑のお世話など、まち協に大変お世話になっていてありがたいこと。
- ・今後も、「ふれあいひろば」などを通じて地域と密着した運営を進めたいので格別なご協力をお願いしたい。

#### ■ 協議事項

○H26 年度予算案の決定について(単位 千円)

収入： 前期繰越 161、市交付金 220、販売代金 30、みんなのまる交付金 100、計 511

支出： グループ活動費 327、会議費 30、広報関係 74、予備費 80、計 511

とする原案を承認しました。

○第1回標柱ウォーキングについて

「標柱づくりグループ」から、「先に設置した標柱を活用する意味で、まず、地元中心に参加を呼びかけ、第1回標柱めぐり(ウォーキング)」を実施したいと提案があり、具体案を検討した結果、一部修正し、6月14日(土)に実施することになりました。

○学校稲作体験支援について

継続実施を前提としつつ、どの範囲で行うか検討の結果、これまで「手植え」を行っていた1枚のみで行うことになりました。



○市「まちづくり協議会活動交付金」について

今年度から市の交付基準が変更となり、「みんなのまる活動交付金」(上限 50 万円)が新設された内容について確認した結果、基本的にこれまでのグループ活動費の多くがこれに該当するものと判断されることから、未実施の活動費についてはこれを申請していくことにしました。

○広報紙の毎月発行について

広報紙「伊深まちづくり協議会たより」は2012(H24)年4月の第3号から、隔月(年6回)発行としていましたが、迅速な情報伝達の必要性、予算との兼ね合い、HPとの役割分担などを総合的に勘案し、6月号(第16号)以降、一部記事構成を見直し、毎月発行に取り組むこととしました。

その他、各活動グループ・団体から、近況報告があったほか、以下の意見がありました。

○「この定例会へ出す段階で案が固まりすぎている。もっと案を作る段階から関係者へ声をかけ、たくさんの人の意見を反映すべきだ」